



令和8年度 稲敷市男女共同参画に関する中学生意識アンケート

結果報告書

令和8年9月

稲敷市市長公室秘書広聴課男女共同参画担当

I	調査概要	
1	調査の目的	P 1
2	調査の実施方法	P 1
3	報告書上の注意	P 1
	《概要》	P 2
II	調査結果	
1	固定的な性別意識の経験	P 3
2	男女の地位の平等感について	P 4
3	男女のあり方について	P 10
4	男女が平等になるための方策について	P 16
5	男女共同参画に関する周知度	P 16
6	回答者の性別	P 16
	* 令和 7 年度稲敷市男女共同参画に関する中生意識アンケート結果との比較	P 17
III	数値表	P 19
IV	自由記述欄	P 22
V	調査票様式	P 29

I 調査概要

1 調査の目的

本調査は、稲敷市の中学生における男女共同参画に関する意識と実態を把握し、今後の男女共同参画社会の実現に向けた施策の基礎資料とする。

2 調査の実施方法

- (1) 調査方法 タブレットPCを活用した調査
- (2) 調査期間 令和8年6月16日から令和8年7月3日（18日間）
- (3) 調査対象者 稲敷市立の全中学校に通う中学2年生の全員232名
- (4) 回答状況 187名（回答率80.6%）
- (5) 調査項目 1 固定的な性別意識の経験
 2 男女の地位の平等感について
 3 男女のあり方について
 4 男女が平等になるための方策について
 5 男女共同参画に関する周知度
 6 回答者の性別

3 報告書上の注意

- 端数処理の関係上、構成比（%）の計が100%とならないことがあります。
- 図表の構成比（%）は小数点以下第2位を四捨五入したものです。
- 数値は、「女子」、「男子」、「無回答」に区分し、その合計を「全体」として集計しています。なお、問6（あなたの性別を教えてください）を回答しなかった方については、問1～問5まで「無回答」に含めて集計しています。
- 自由記述欄のうち、「分からない」「なんとなく」等の回答は集計から除外しています。また、回答は個人が特定されるものを除き、原文のまま記載しています。



《概要》

1 固定的な性別意識の経験

「男らしく・女らしく」と言われた経験について、約4人に1人が「ある」と回答した。女子は27.6%、男子は26.2%で、男女間で大きな差はみられなかった。

2 男女の地位の平等感

男女の地位について「平等である」と回答した割合は、家庭生活、学校生活、社会全体の順に低くなっている。一方、「分からない」と回答した割合は家庭生活から社会全体にかけて高くなる傾向がみられた。

3 男女のあり方

「男女とも経済的自立ができるようになるのが良い」「男女とも家事ができるようになるのが良い」「性別にかかわらず、個性に応じて生きていくのが良い」については、「賛成（合計）」と回答した割合がいずれも8割以上となっており、多くの中学生が肯定的に捉えている。

「男性は仕事、女性は家庭」「男性は男らしく、女性は女らしく生きていくのが良い」という考え方については、反対する回答が多く、特に後者では女子の「反対（合計）」が男子より16.3ポイント高く、男女差が見られた。

4 男女が平等になるための方策

「偏見や慣習を改める」と「夫婦間で家事等の分担を話し合う」がそれぞれ101人で最も多く、次いで「法律や制度の見直し」82人、「仕事と家庭の両立ができるサービス」79人となっている。

5 男女共同参画の周知度

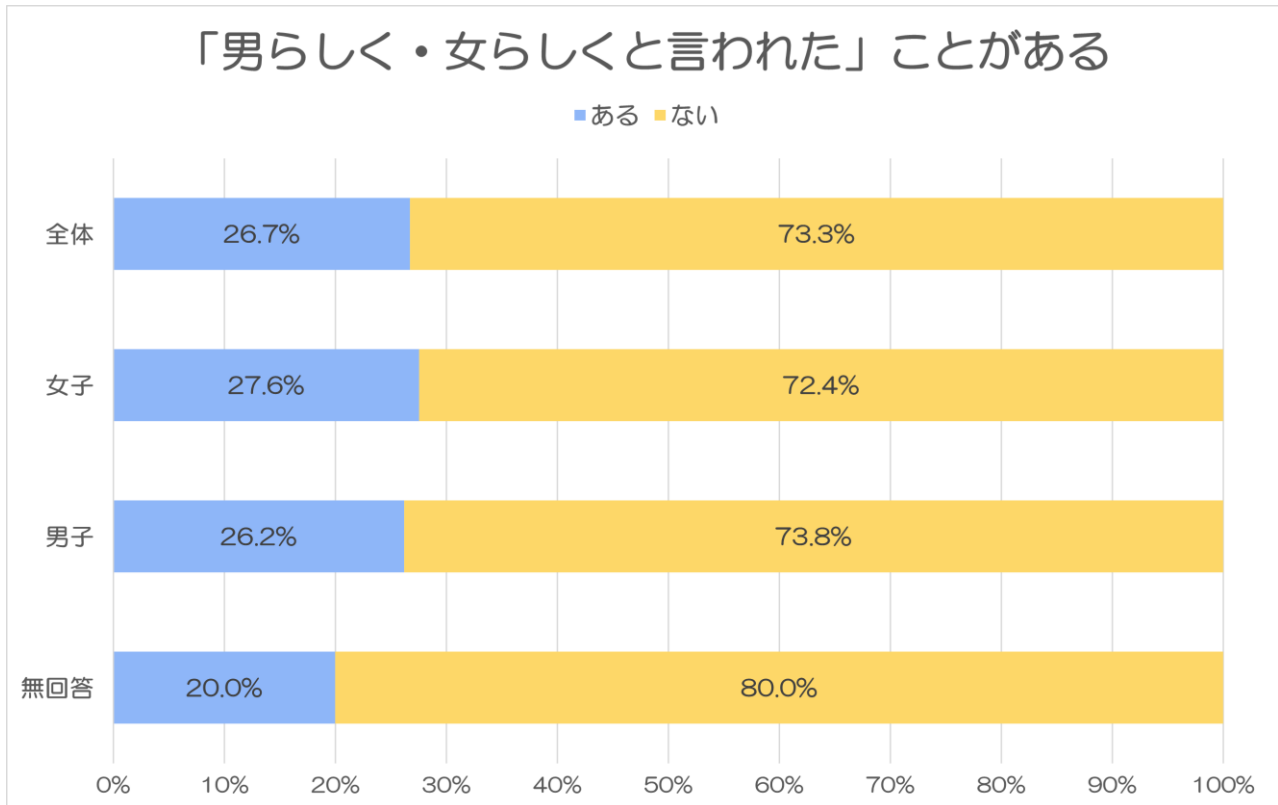
「知らなかった」と回答した割合が55.9%で最も多く、「見たり聞いたりしたことはある」が33.9%、「内容まで知っている」が10.2%となっている。

男女別にみると「知らなかった」と回答した割合は男子61.9%、女子48.5%となっており、男子の方が13.4ポイント高くなっている。

Ⅱ 調査結果

1 固定的な性別意識の経験

問1 あなたは、大人から「男らしくしなさい・男のくせに」や「女らしくしなさい・女のくせに」のように言われた（言われる）ことはありますか。（単一選択、回答者 187 人）



全体では、「ある（26.7%）」よりも「ない（73.3%）」の回答の方が多い。

「ある」の回答は、女子（27.6%）の方が男子（26.2%）よりも多いが、大きな差はない。性別の無回答者（以下「無回答者」という。）は20.0%が「ある」と回答しており、女子、男子、無回答者のいずれの区分でも、2割以上が「ある」と回答している。

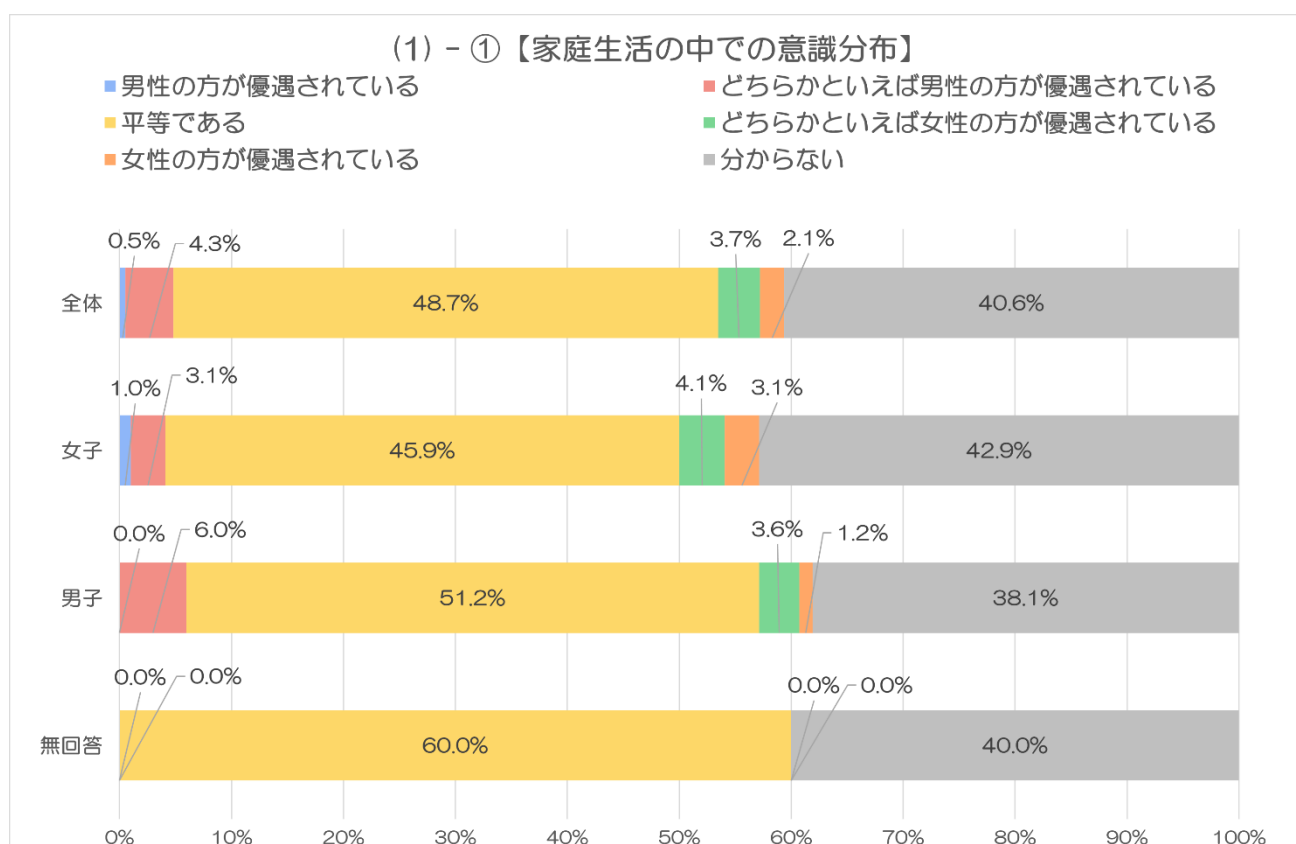
2 男女の地位の平等感について

問2 あなたは、今の社会で男女は平等になっていると思いますか。次の（１）～（３）それぞれの分野について、あなたの気持ちに最も近いものをそれぞれ１つ選んでマークしてください。また、どんなときにそう感じますか。（単一選択）

*「男性の方が優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の合計を「男性の方が優遇（合計）」とし、「女性の方が優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の合計を「女性の方が優遇（合計）」とします。

*自由記述の内訳については、回答内容を主な内容ごとに分類して集計しています。

（１）家庭生活の中で（回答者 187 人）



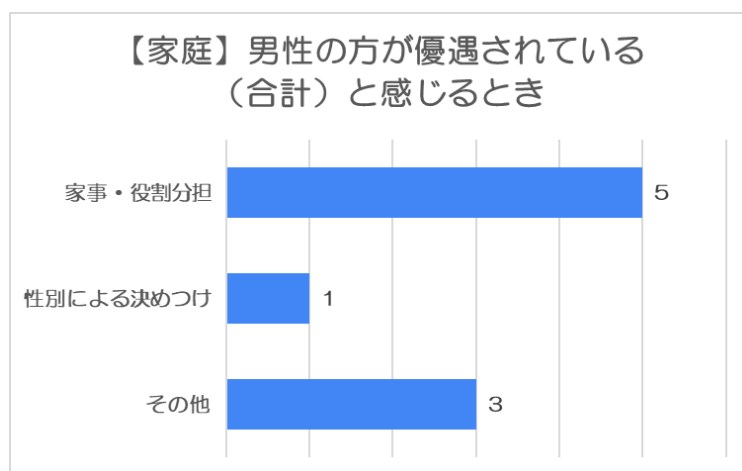
家庭生活の中において、全体では、「平等である」が48.7%で最も多く、次いで「分からない」が40.6%、「女性の方が優遇（合計）」が5.8%、「男性の方が優遇（合計）」が4.8%である。

「男性の方が優遇（合計）」と答えた割合は、男子（6.0%）の方が女子（4.1%）よりも多い一方で、「女性の方が優遇（合計）」と答えた割合は、女子（7.2%）の方が男子（4.8%）よりも多い。

無回答者は、「平等である」が60.0%で最も多く、「分からない」が40.0%であった。

男子は半数以上が「平等である」と回答した。

(1) - ② 自由記述の内訳

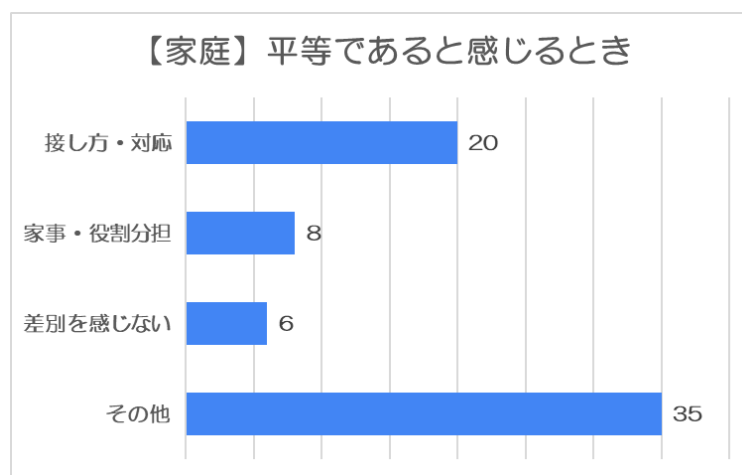


【男性の方が優遇されている（合計）と感じるとき】

家事分担や家庭内での役割に関する回答が多くみられた。

（一部抜粋）

- ・女性は働いているにもかかわらずすべて家事をしているから。
- ・共働きで、父が家事を一つしかやらないときに母は4つしているとき
- ・男は家事をしないみたいなのが少し残っているから

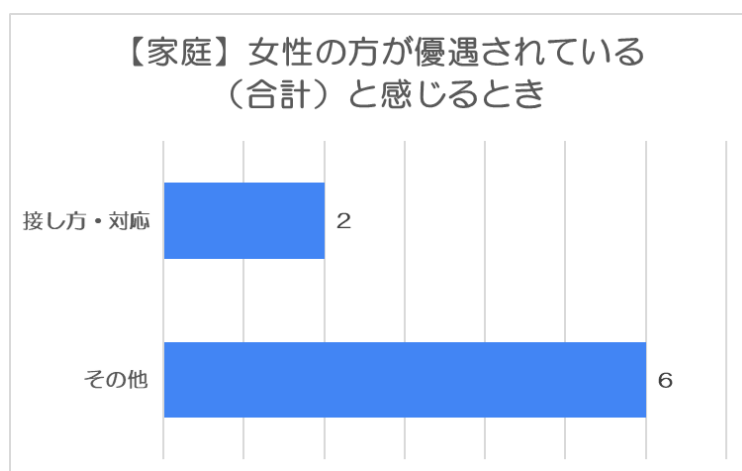


【平等であると感じるとき】

男女で同じように対応されることや、家庭内で協力・分担している場面などについての回答が多い。

（一部抜粋）

- ・同じ対応をしてる時
- ・分担して家事をしている
- ・男子と女子で接する態度が変わらないから
- ・女子が優遇されるときもあれば、男子が優遇されているときもあるから



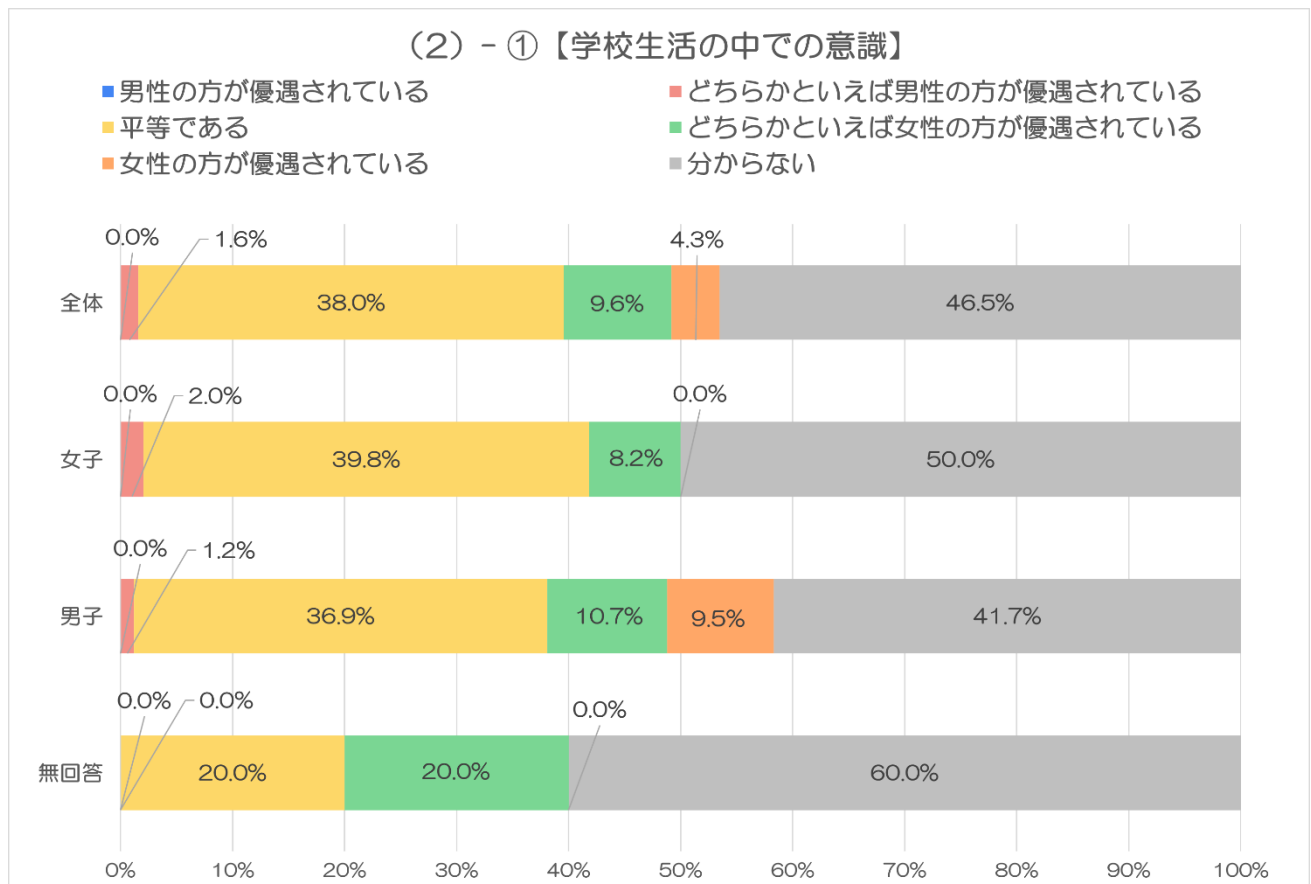
【女性の方が優遇されている（合計）と感じるとき】

女性が優先される場面や、男女で取扱いが異なる場面などについての回答があった。

（一部抜粋）

- ・優先されるとき
- ・ものを買ってもらうとき
- ・入場料が女性と男性でかわるから
- ・男子なんだからと言われてた

(2) 学校生活の中で（回答者 187 人）



学校生活の中において、全体では、「分からない」が46.5%で最も多い。次いで「平等である」が38.0%、「女性の方が優遇（合計）」が13.9%、「男性の方が優遇（合計）」が1.6%と続く。

「男性の方が優遇（合計）」は回答が少なく、「女性の方が優遇（合計）」は女子（8.2%）よりも男子（20.2%）の方が多い。

無回答者は、「分からない」が60.0%で最も多く、「平等である」と「女性の方が優遇（合計）」がそれぞれ20.0%であった。

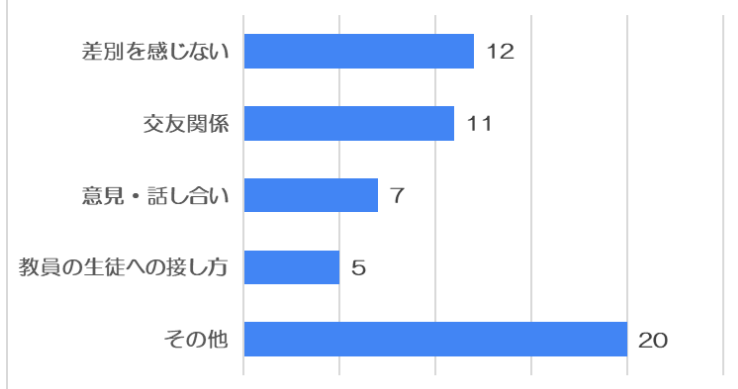
(2) - ② 自由記述の内訳

【男性の方が優遇されている（合計）と感じるとき】

役割分担や服装などについての回答がみられた。

- ・荷物運ぶときとか
- ・冬に男子は制服がズボンだけど女子はスカートで寒い
- ・話の話題

【学校】平等であると感じるとき



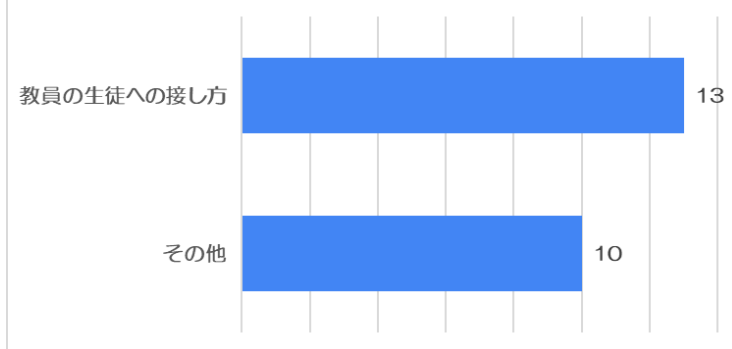
【平等であると感じるとき】

男女で同じように対応されることや、互いの意見を尊重して活動している場面などについての回答多かった。

（一部抜粋）

- ・同じ対応をしてくれてる時
- ・グループ活動の意見交換の時間に、お互いの意見を尊重しているから
- ・男女関係なく接しているから。

【学校】女性の方が優遇されている（合計）と感じるとき



【女性の方が優遇されている（合計）と感じるとき】

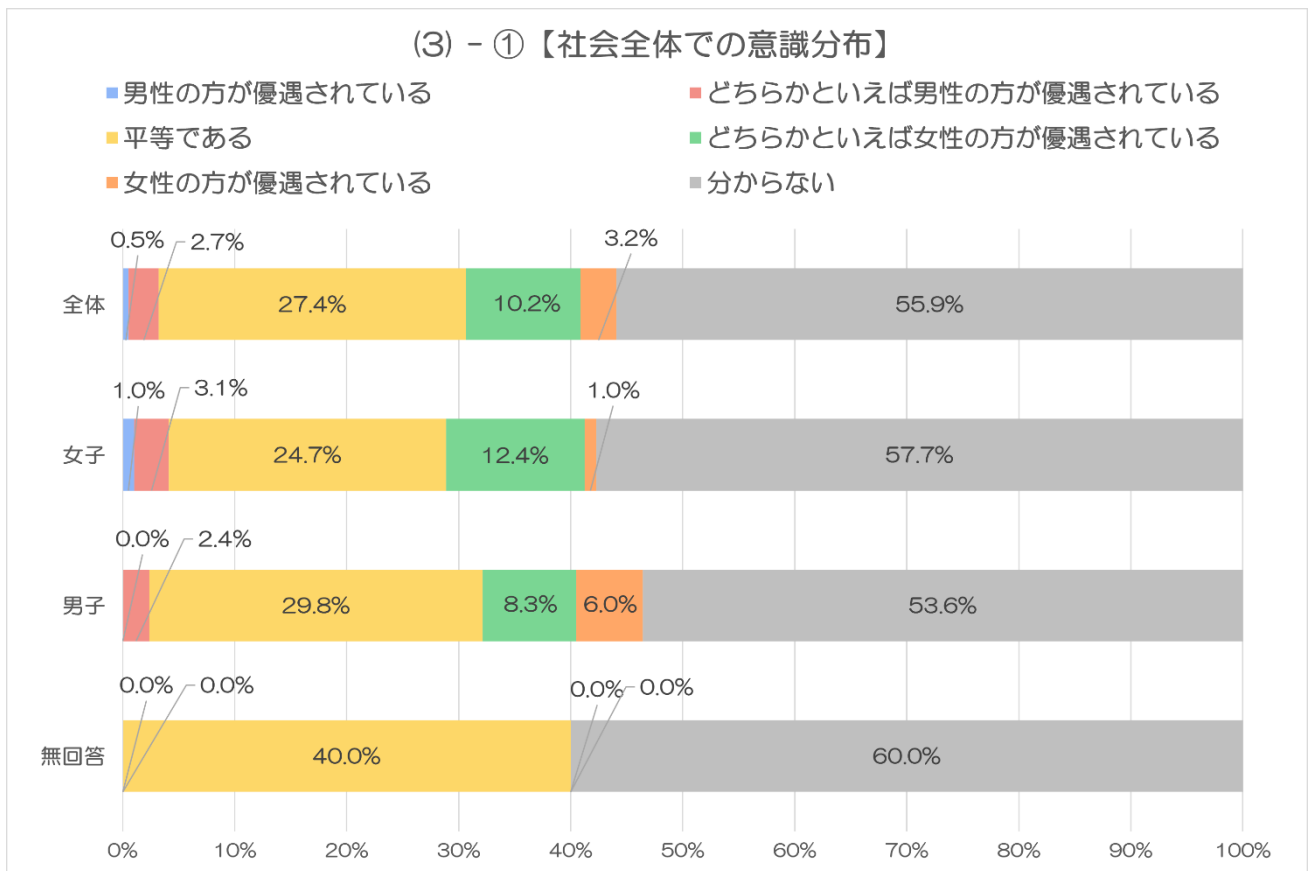
教員の接し方や、男女で対応が異なる場面などについての回答があった。

（一部抜粋）

- ・男子のほうが女子よりも強い言葉で怒られる
- ・男性は重いものを持って、女性は重くないものを持つということがあるから



(3) 社会全体で（回答者 186 人）

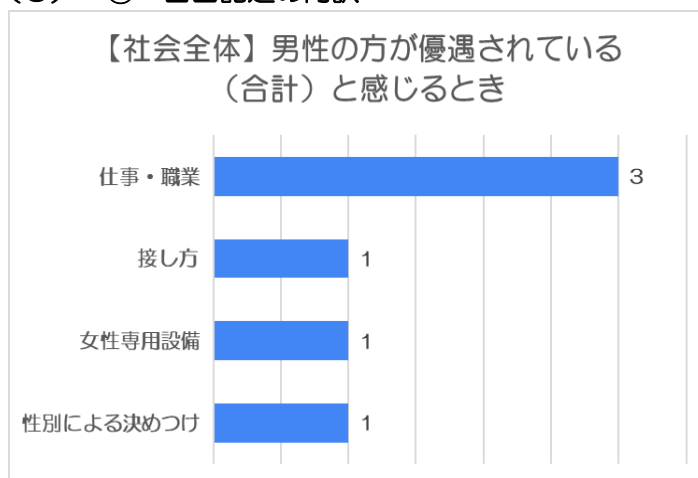


社会全体において、全体では、「分からない」が55.9%で最も多く、次いで「平等である」が27.4%、「女性の方が優遇（合計）」が13.4%、「男性の方が優遇（合計）」が3.2%と続く。

無回答者は、「分からない」が60.0%、「平等である」が40.0%であった。

男女ともに、男女どちらの方が優遇されていると回答した割合よりも、「平等である」と回答した割合の方が多い。

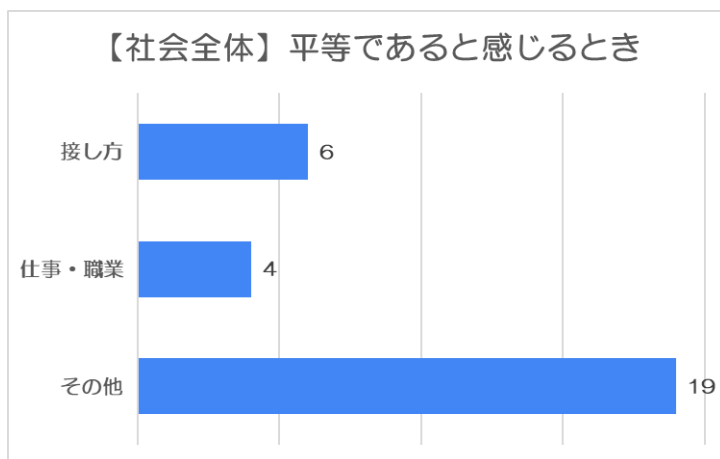
(3) - ② 自由記述の内訳



【男性の方が優遇されている（合計）と感じるとき】

仕事や収入、男女の扱いの違いなどについての回答があった。

- ・男のほうが偉いみたいな昭和な感じが残ってるから
- ・女子しか行けないところがあった気がする
- ・年収
- ・仕事面
- ・男性にしかできない仕事があるから
- ・男の人と女の人が比べられているとき

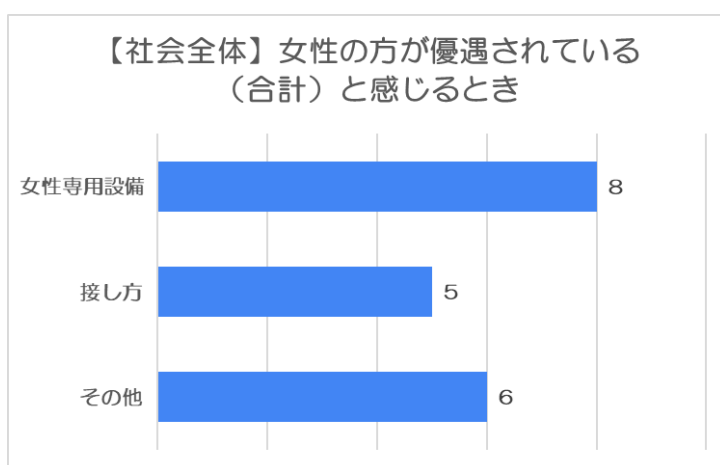


【平等であると感じるとき】

男女で同じように接していることや、仕事や社会生活の中で性別にかかわらず活動している場面などについての回答があった。

（一部抜粋）

- ・男女で接する態度が変わらないから
- ・体力が必要な仕事も女性が就いているとき
- ・女性専用のものが多かったりはするけどそれには必ず理由があり、それ以外は平等になっていると思ったから



【女性の方が優遇されている（合計）と感じるとき】

女性専用の設備や男女での接し方の違いなどについての回答が多かった。

（一部抜粋）

- ・電車とかに女性用車両があるから
- ・男なんだからという言葉を書くときがあるから
- ・女子にだけ優しい人たちがたくさんいそう

《全体》

○男女の平等感は、家庭生活、学校生活、社会全体の順に低くなっている。

○「分からない」は、家庭生活、学校生活、社会全体の順に高くなっており、特に社会全体では半数を超えている。

○学校生活では、授業やグループ活動で平等さを実感する声がある一方で、教員からの指導や接し方の違いが、不平等や優遇を感じるきっかけとなっている。

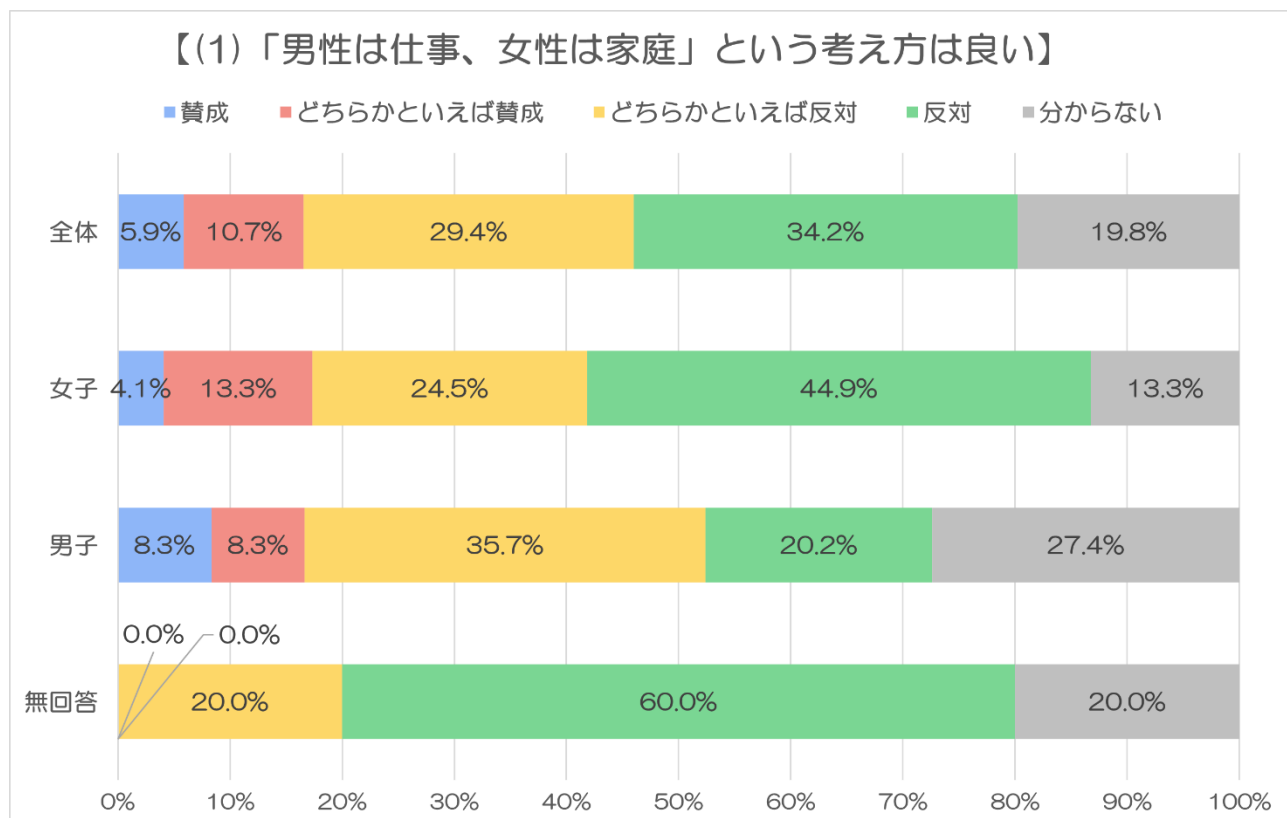
○学校生活における男女の体力の違いへの配慮に対する肯定的な声と、社会での「女性専用車両」への疑問の声がどちらも挙がっており、配慮の捉え方に違いがみられる。

3 男女のあり方について

問3 あなたは、これからの男性と女性のあり方がどのようなになれば良いと思いますか。
次の(1)～(5)について、それぞれ1つ選んでマークしてください。(単一選択)

*「賛成」と「どちらかといえば賛成」の合計を「賛成(合計)」、「反対」と「どちらかといえば反対」の合計を「反対(合計)」とします。

(1)「男性は仕事、女性は家庭」という考え方は良い(回答者187人)

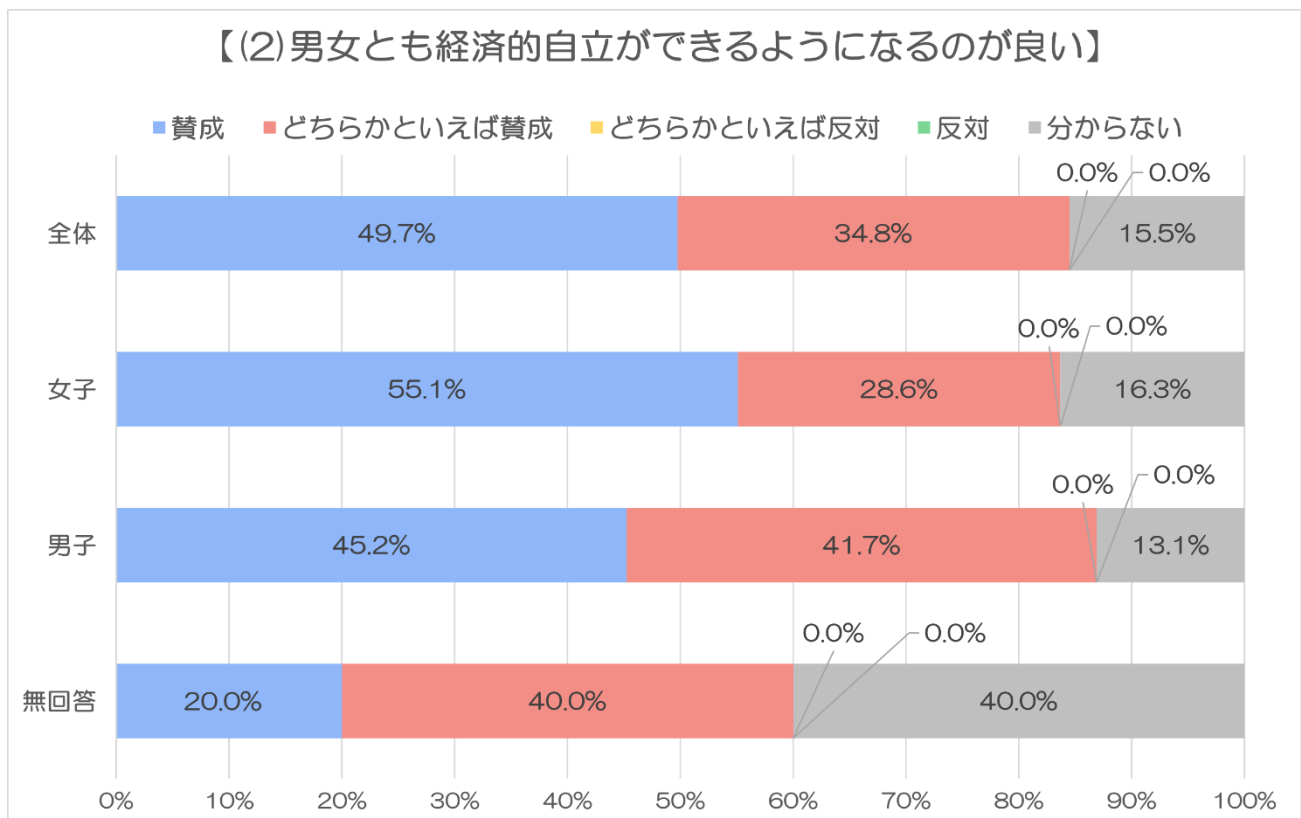


「男性は仕事、女性は家庭」という考え方について、全体では、「反対(合計)」が63.6%で、「賛成(合計)」の16.6%を大きく上回っている。

男女別では、「反対(合計)」は、女子69.4%、男子55.9%で、女子の方が男子より13.5ポイント高い。

また、「分からない」は、女子13.3%に対して男子27.4%で、男子の方が2倍以上割合が高い結果となった。

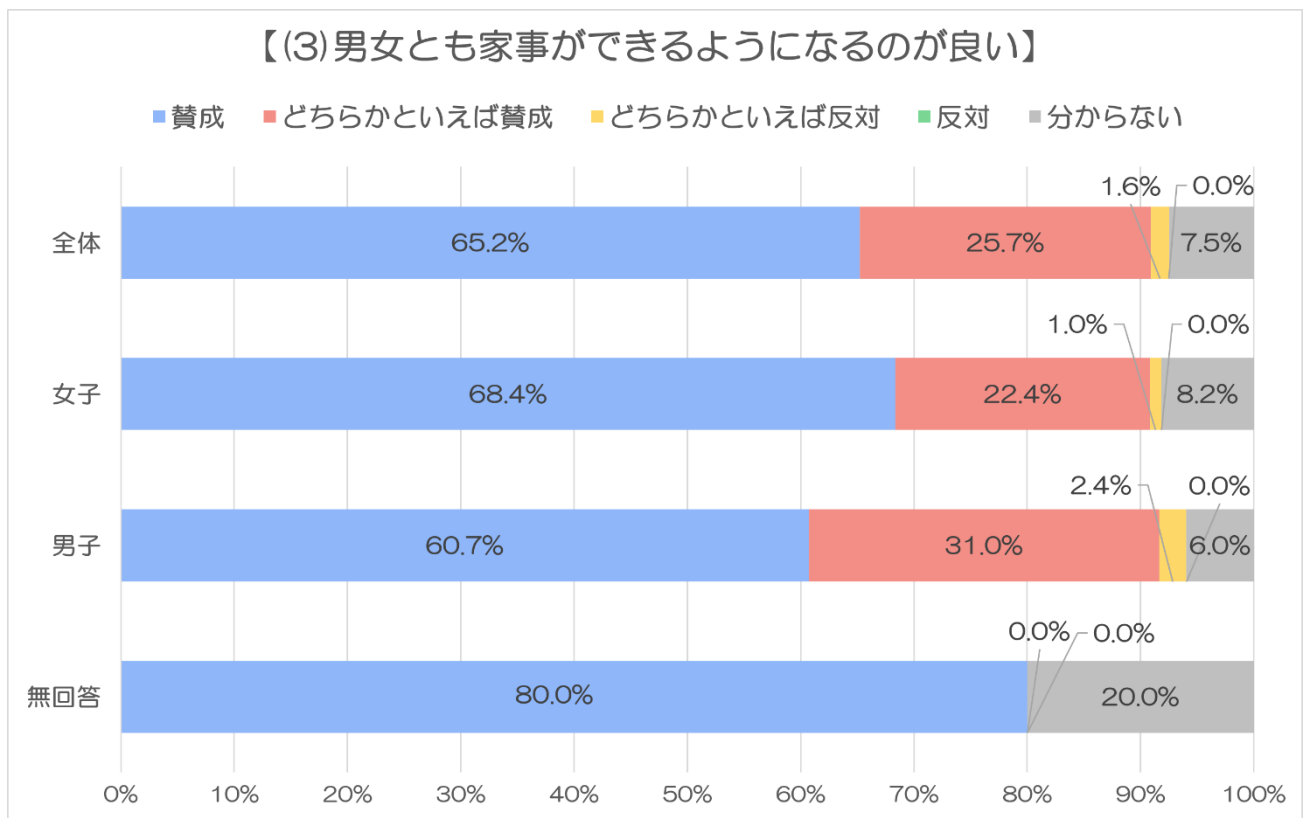
(2) 男女とも経済的自立ができるようになるのが良い（回答者 187 人）



「男女とも経済的自立ができるようになるのが良い」という考え方について、全体では、「賛成」が49.7%で最も多く、次いで「どちらかといえば賛成」が34.8%、「分からない」が15.5%と続く。「どちらかといえば反対」および「反対」の回答はなかった。

「賛成（合計）」は、女子83.7%、男子86.9%で、男女とも8割以上が肯定的な回答となっている。

(3) 男女とも家事ができるようになるのが良い（回答者 187 人）

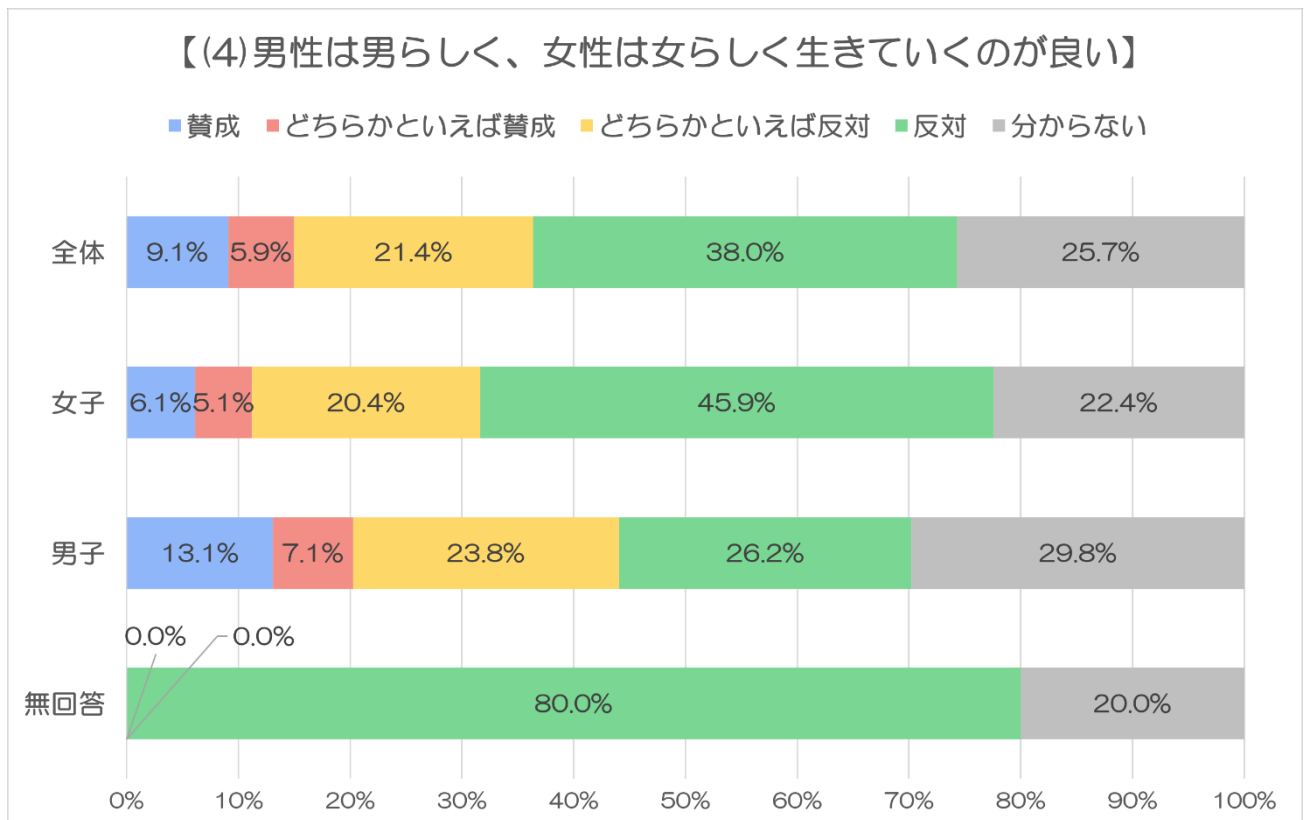


「男女とも家事ができるようになるのが良い」という考え方について、全体では、「賛成」が65.2%で最も多く、次いで「どちらかといえば賛成」が25.7%、「分からない」が7.5%、「どちらかといえば反対」が1.6%と続き、「反対」の回答はなかった。

「賛成（合計）」は、全体で90.9%となっており、男女別では、女子90.8%、男子91.7%で、男女とも9割以上が肯定的に回答している。

「反対（合計）」と「分からない」は、いずれも少数で男女差はない。

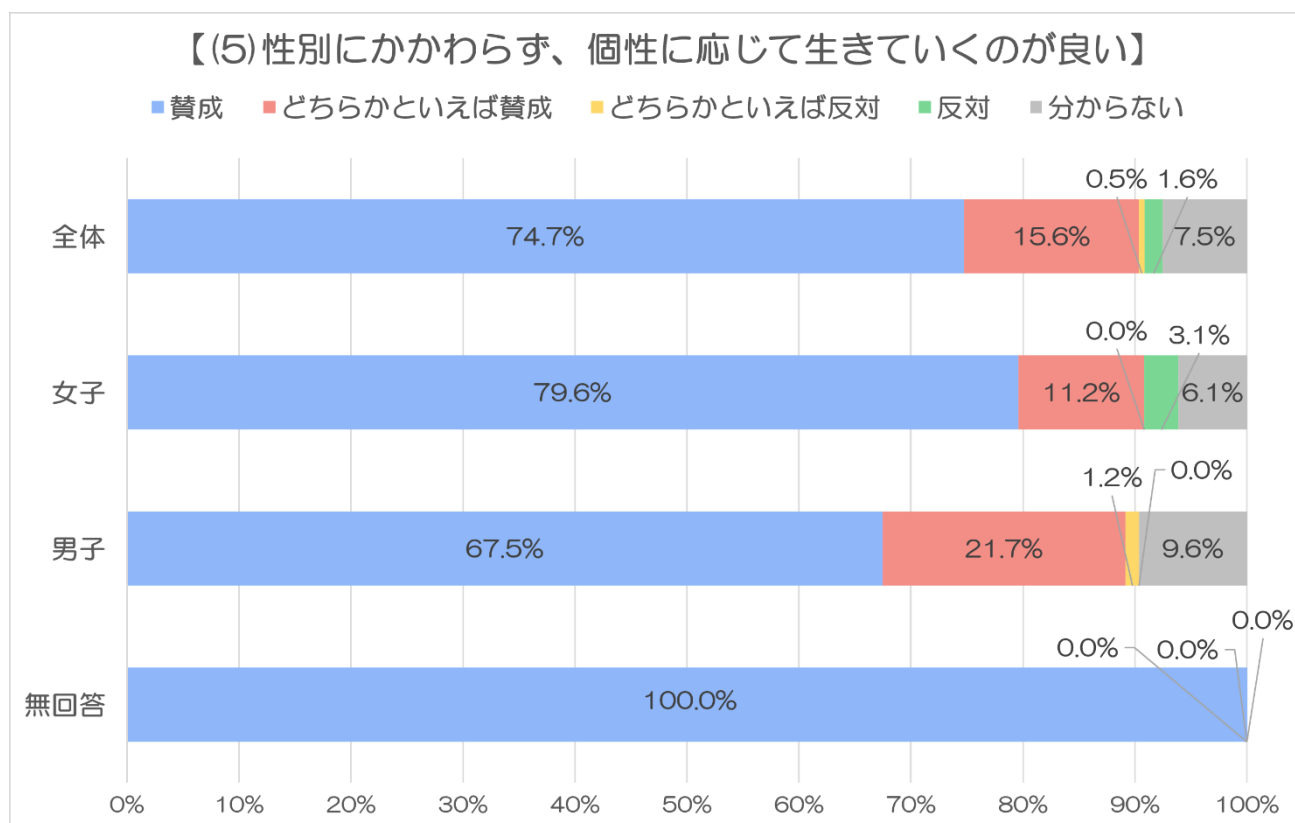
(4) 男性は男らしく、女性は女らしく生きていくのが良い（回答者 187 人）



「男性は男らしく、女性は女らしく生きていくのが良い」という考え方について、全体では、「賛成（合計）」が 15.0%、「反対（合計）」は 59.4%となっており、「反対（合計）」が「賛成（合計）」の約 4倍となっている。

「賛成」と回答した割合は、男子の方が女子の 2 倍以上多く、「反対」と回答した割合は、女子の方が約 1.8 倍多くなっている。

(5) 性別にかかわらず、個性に応じて生きていくのが良い（回答者 186 人）



「性別にかかわらず、個性に応じて生きていくのが良い」という考え方について、全体では、「賛成（合計）」は、90.3%となっており、9 割以上が肯定的に回答している。

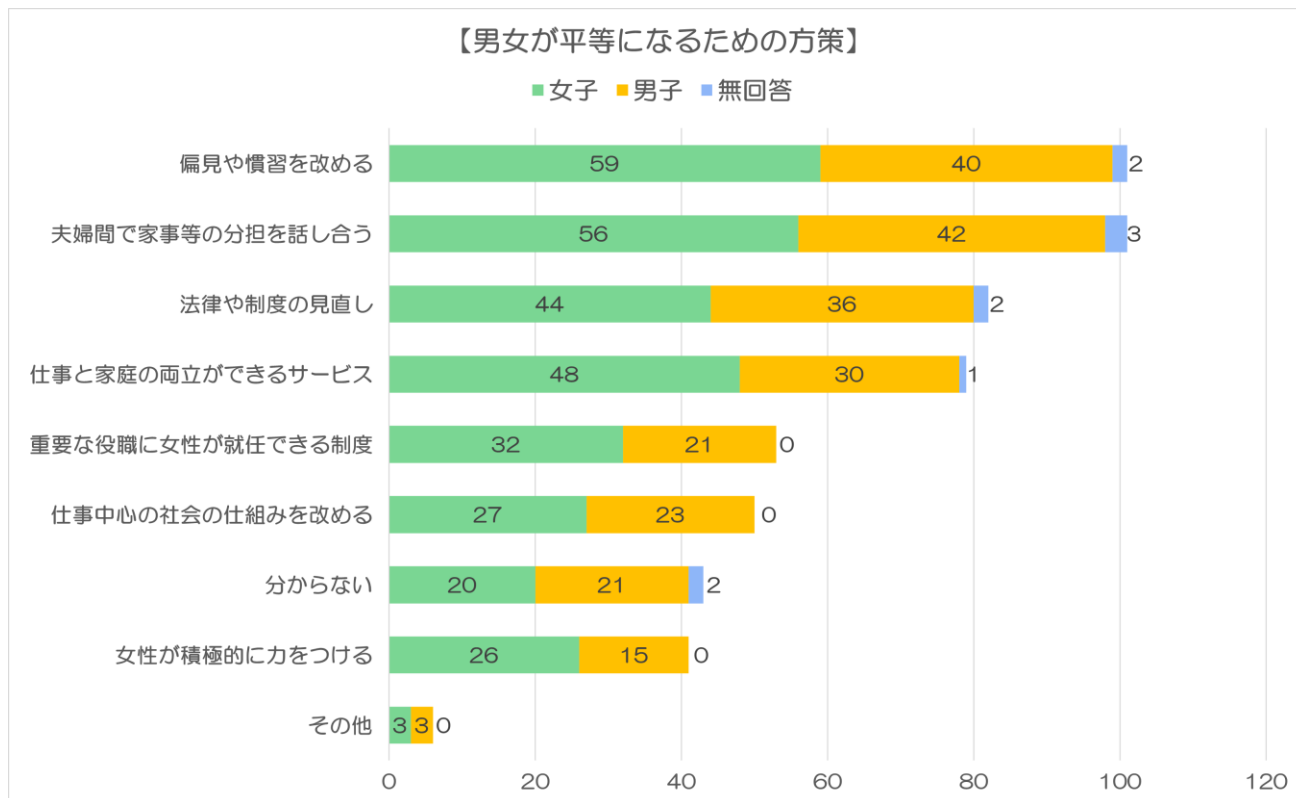
男女別にみても、「賛成（合計）」は、女子 90.8%、男子 89.2%で、男女とも 9 割前後の割合で肯定的である。

《全体》

- 「男女とも経済的自立ができるようになるのが良い」「男女とも家事ができるようになるのが良い」「性別にかかわらず、個性に応じて生きていくのが良い」については、「賛成（合計）」と回答した割合がいずれも 8 割以上となっており、多くの中学生が肯定的に捉えている。男女で大きな差はない。
- 「男性は仕事、女性は家庭」「男性は男らしく、女性は女らしく生きていくのが良い」という考え方については、反対する回答が多く、特に後者では女子の「反対（合計）」が男子より 16.3 ポイント高く、男女差が見られた。

4 男女が平等になるための方策について

問 4 あなたは、今後、男女が社会のあらゆる分野（仕事、家庭、学校、地域活動、政治など）でもっと平等になるために重要だと思うことは何ですか。次の中から当てはまるものをすべてチェックしてください。（複数選択、回答者 187 人）



全体では、「偏見や慣習を改める」および「夫婦間で家事等の分担を話し合う」がそれぞれ 101 人で最も多く、次いで「法律や制度の見直し」が 82 人、「仕事と家庭の両立ができるサービス」が 79 人と続く。

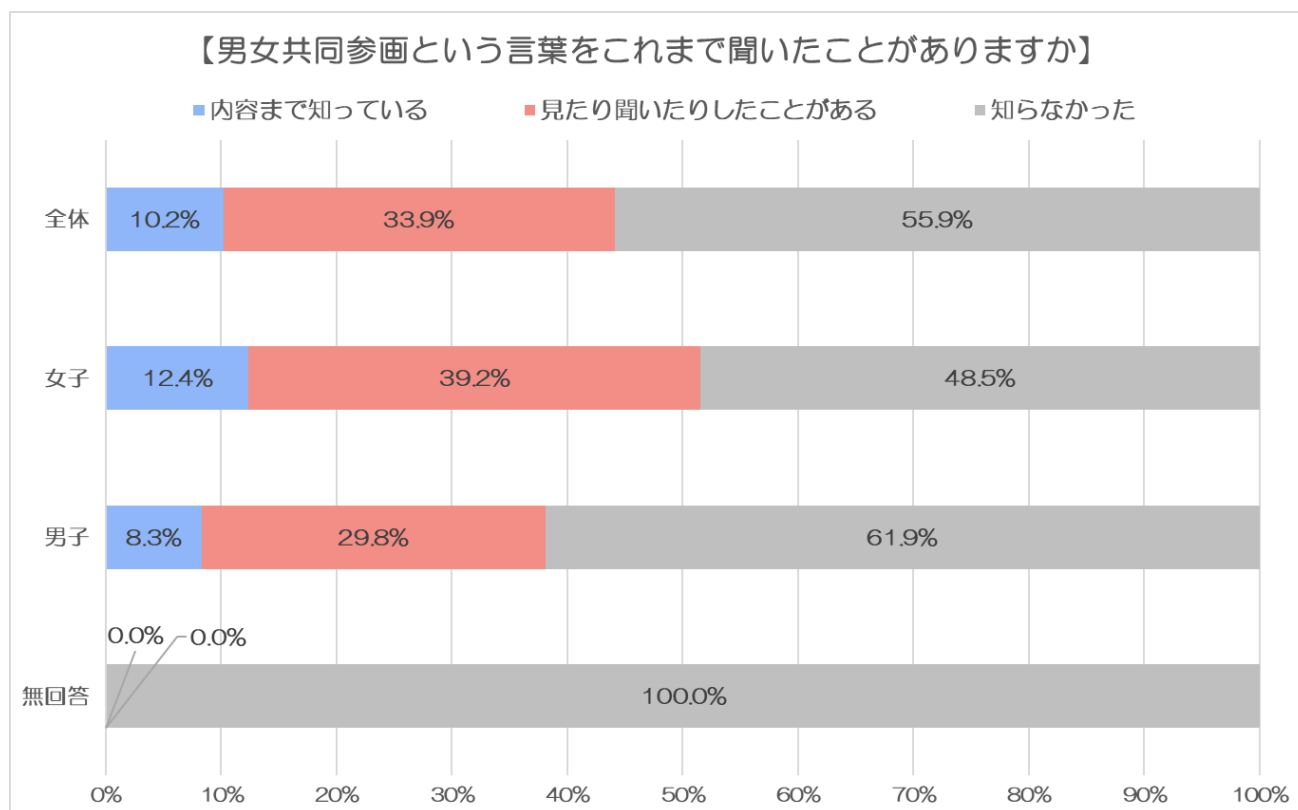
男女別では、女子は、「偏見や慣習を改める」が 59 人で最も多く、次いで「夫婦間で家事等の分担を話し合う」が 56 人、「仕事と家庭の両立ができるサービス」が 48 人となっている。男子は、「夫婦間で家事等の分担を話し合う」が 42 人で最も多く、次いで「偏見や慣習を改める」が 40 人、「法律や制度の見直し」が 36 人となっている。

「その他」の回答（1 名は回答なし）

- ・ SNS で今よりもっと発信してみることが重要になると思う
- ・ どうもできたらいいと思うから
- ・ 差別 No
- ・ 子育ての際に男女共に育休を取れる・取りやすい環境を作る。
- ・ 役割分担は大切だから

5 男女共同参画に関する周知度

問5 あなたは、男女共同参画という言葉をごこれまで聞いたことがありますか。
次の中から1つ選んでマークしてください。(単一選択、回答者 186 人)

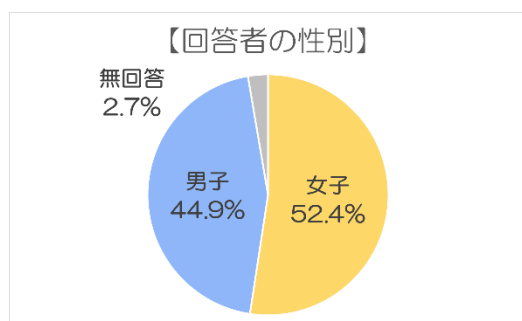


全体では、「知らなかった」が55.9%と最も多く、次いで「見たり聞いたりしたことはある」が33.9%、「内容まで知っている」が10.2%となっている。男女共同参画について、内容まで認知している割合は1割程度にとどまる一方、「知らなかった」が半数を超えている。

男女別にみると、「内容まで知っている」「見たり聞いたりしたことはある」について、いずれも女子が男子を上回っている。一方、「知らなかった」については男子が女子を上回っており、男子の方が男女共同参画に関する認知度が低い傾向がみられる。

6 回答者の性別

問6 あなたの性別を教えてください。(単一回答、回答者 187 人)



女子が98人(52.4%)、男子が84人(44.9%)、無回答が5人(2.7%)である。

《令和 7 年度 稲敷市男女共同参画に関する中学生意識アンケート結果との比較》

○固定的な性別意識の経験

- ・「男らしく・女らしく」と言われた経験について、「ある」と回答した割合は、全体で 38.1%から 26.7%へ 11.4 ポイント減少した。昨年度は男女とも「ある」の割合が増加していたが、今年度は一転してそれぞれ 10 ポイント以上減少した。

○男女の地位の平等感について

- ・家庭生活では、「平等である」が増加し、「男性の方が優遇（合計）」と「女性の方が優遇（合計）」はいずれも減少した。
- ・学校生活では、「平等である」が昨年に引き続き最も多く、割合に大きな変化はみられなかった。
- ・社会全体では、「平等である」が 15.9%から 27.4%へ 11.5 ポイント増加した。一方、「男性の方が優遇（合計）」は 14.8%から 3.2%へ 11.6 ポイント減少、「女性の方が優遇（合計）」は 14.3%から 13.4%へ 0.9 ポイント減少した。特に、「男性の方が優遇（合計）」と回答した割合が大きく減少している。

○男女のあり方について

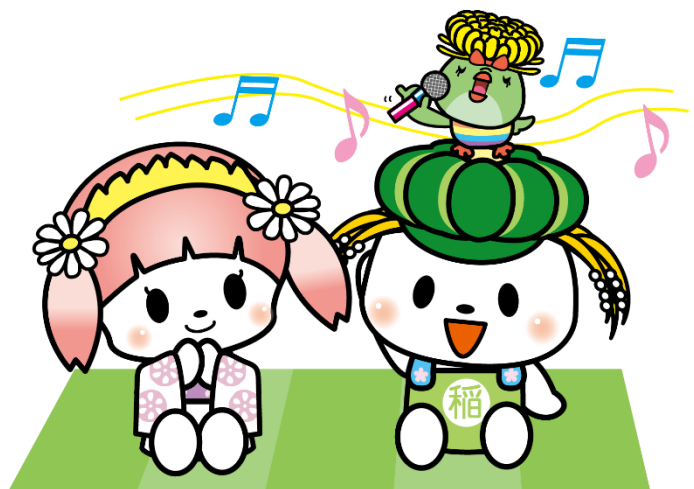
- ・「男性は仕事、女性は家庭」という考え方について、「賛成（合計）」は 1.9 ポイント減少し、「反対（合計）」は 3.3 ポイント増加した。今年度も「反対（合計）」が「賛成（合計）」を大きく上回っており、固定的な性別役割分担意識に否定的な傾向がみられる。また、男女別では、昨年度と同様に、男子より女子の方が「反対（合計）」の割合が高かった。
- ・「男女とも経済的自立ができるようになるのが良い」は、今年度も男女とも「賛成（合計）」が 8 割を超えた。
- ・「男女とも家事ができるようになるのが良い」は、昨年度に引き続き、約 9 割の中学生が肯定的に回答しており、男女ともに家事を担うことへの理解が高いことがうかがえる。
- ・「男性は男らしく、女性は女らしく生きていくのが良い」は、今年度も「反対（合計）」が「賛成（合計）」を大きく上回った。
- ・「性別にかかわらず、個性に応じて生きていくのが良い」は、昨年度と同様に約 9 割が肯定的に回答しており、性別にかかわらず個性を尊重する考え方が広く受け入れられている。

○男女が平等になるための方策について

- 今年度は、「男女の役割分担について社会全体の考え方や様々な偏見や慣習などを改めること」「夫婦間で家事等の分担をするよう十分に話し合うこと」がそれぞれ101人で最も多く、次いで「法律や制度の見直しを行い、性差別につながるものを改めること」が82人、「仕事と家庭の両立ができるようにその手助けとなるサービスを行うこと」が79人となった。
- 上位4つは昨年度と同じく選択されていて、固定的な性別役割分担意識や社会の慣習を見直すことへの意識がみられる。

○男女共同参画に関する周知度

- 「男女共同参画」という言葉について「内容まで知っている」と回答した割合は、昨年度と変わらず1割程度となっており、男女共同参画の意味や考え方について理解や関心を深めていくことが課題である。
- 昨年度と比較して「知らなかった」と回答した割合は減少し、「見たり聞いたりしたことはある」が増加していることから、「男女共同参画」という言葉に触れる機会は増えていると考えられる。



Ⅲ 数値表

【令和 8 年度 稲敷市男女共同参画に関する中学生意識アンケート 数値結果】

対象者数 232 名 回答者数 187 名 回答率 80.6%

問 1

あなたは、大人から「男らしくしなさい・男のくせに」や「女らしくしなさい・女のくせに」のように言われた（言われる）ことはありますか。

区分	ある	ない	合計
全体	50	137	187
女子	27	71	98
男子	22	62	84
無回答	1	4	5

問 2

あなたは、今の社会で男女は平等になっていると思いますか。次の(1)～(3)それぞれの分野について、あなたの気持ちに最も近いものを 1 つ選んでマークしてください。

(1) 家庭生活の中で

区分	男性の方が優遇	どちらかといえば男性の方が優遇	平等	どちらかといえば女性の方が優遇	女性の方が優遇	分からない	合計
全体	1	8	91	7	4	76	187
女子	1	3	45	4	3	42	98
男子	0	5	43	3	1	32	84
無回答	0	0	3	0	0	2	5

(2) 学校生活の中で

区分	男性の方が優遇	どちらかといえば男性の方が優遇	平等	どちらかといえば女性の方が優遇	女性の方が優遇	分からない	合計
全体	0	3	71	18	8	87	187
女子	0	2	39	8	0	49	98
男子	0	1	31	9	8	35	84
無回答	0	0	1	1	0	3	5

(3) 社会全体で

区分	男性の方が優遇	どちらかといえば男性の方が優遇	平等	どちらかといえば女性の方が優遇	女性の方が優遇	分からない	合計
全体	1	5	51	19	6	104	186
女子	1	3	24	12	1	56	97
男子	0	2	25	7	5	45	84
無回答	0	0	2	0	0	3	5

問3

あなたは、これからの男性と女性のあり方がどのようになれば良いと思いますか。次の(1)～(5)について、それぞれ1つ選んでマークしてください。

(1)「男性は仕事、女性は家庭」という考え方は良い。

区分	賛成	どちらかといえば 賛成	どちらかといえば 反対	反対	分からない	合計
全体	11	20	55	64	37	187
女子	4	13	24	44	13	98
男子	7	7	30	17	23	84
無回答	0	0	1	3	1	5

(2) 男女とも経済的自立ができるようになるのが良い。

区分	賛成	どちらかといえば 賛成	どちらかといえば 反対	反対	分からない	合計
全体	93	65	0	0	29	187
女子	54	28	0	0	16	98
男子	38	35	0	0	11	84
無回答	1	2	0	0	2	5

(3) 男女とも家事ができるようになるのが良い。

区分	賛成	どちらかといえば 賛成	どちらかといえば 反対	反対	分からない	合計
全体	122	48	3	0	14	187
女子	67	22	1	0	8	98
男子	51	26	2	0	5	84
無回答	4	0	0	0	1	5

(4) 男性は男らしく、女性は女らしく生きていくのが良い。

区分	賛成	どちらかといえば 賛成	どちらかといえば 反対	反対	分からない	合計
全体	17	11	40	71	48	187
女子	6	5	20	45	22	98
男子	11	6	20	22	25	84
無回答	0	0	0	4	1	5

(5) 性別にかかわらず、個性に応じて生きていくのが良い。

区分	賛成	どちらかといえば 賛成	どちらかといえば 反対	反対	分からない	合計
全体	139	29	1	3	14	186
女子	78	11	0	3	6	98
男子	56	18	1	0	8	83
無回答	5	0	0	0	0	5

問4

あなたは、今後、男女が社会のあらゆる分野（仕事、家庭、学校、地域活動、政治など）でもっと平等になるために重要だと思うことは何ですか。次の中から当てはまるものをすべてチェックしてください（複数選択可）。

項目	男子	女子	無回答	合計
偏見や慣習を改める	40	59	2	101
夫婦間で家事等の分担を話し合う	42	56	3	101
法律や制度の見直し	36	44	2	82
仕事と家庭の両立ができるサービス	30	48	1	79
重要な役職に女性が就任できる制度	21	32	0	53
仕事中心の社会の仕組みを改める	23	27	0	50
分からない	21	20	2	43
女性が積極的に力をつける	15	26	0	41
その他	3	3	0	6

問5

あなたは、男女共同参画という言葉をご存知ですか。次の中から1つ選んでマークしてください。

区分	内容まで知っている	見たり聞いたりしたことがある	知らなかった	合計
全体	19	63	104	186
女子	12	38	47	97
男子	7	25	52	84
無回答	0	0	5	5

問6

あなたの性別を教えてください。次の中から1つ選んでマークしてください。

性別	人数
女子	98
男子	84
無回答	5

IV 自由記述欄

＊「分からない」「なんとなく」などの回答は記載していません。

問2 あなたは、今の社会で男女は平等になっていると感じますか。次の(1)～(3)それぞれの分野において、あなたの気持ちに最も近いものをそれぞれ1つ選んでマークしてください。また、どんなときにそう感じますか。

(1) 家庭生活の中で

【男性の方が優遇されている】

- ・女性は働いているのにもかかわらずすべて家事をしているから。

【どちらかといえば男性の方が優遇されている】

- ・家事を母親がやってくれているとき
- ・共働きで、父が家事を一つしかやらないときに母は4つしているとき
- ・男は家事をしないみたいなのが少し残っているから
- ・冬に男子は制服がズボンだけど女子はスカートで女子だけ寒い
- ・物を使うとき長男から次男、そして長女の順番だから毎回最後になってしまうから。
- ・例えば、家事をしているのはお母さんがほぼしているから。
- ・基本的には女性は育児や家事などをやる役割があって男性はあまりそういうのがないと思うから
- ・喧嘩するとき

【平等である】

- ・どちらもあり利になってるときあるから
- ・不平には感じないから
- ・同じ対応をしてる時
- ・家事をお父さんがやっている
- ・ご飯のおかずを平等にわけるとき
- ・基本的にお母さんがやるけどお母さんがお父さんに頼んだらお父さんがやってくれるから
- ・家にいるとき
- ・普通に過ごしているとき
- ・怪我したとき
- ・家庭であまりそのような喧嘩等が起きない
- ・普段過ごしているとき
- ・褒められたとき
- ・親を中心に全員が家事を分担してやっているとき。
- ・みんなで同じことをしているとき
- ・優しくされたとき、怒られたとき
- ・男子と女子で接する態度が変わらないから
- ・好きなことをして楽しめているから
- ・意見交換をするとき。持ち物。
- ・みんなが楽しそうだから

- 助け合って生活しているとき
- 買い物の時
- 人それぞれでいいんだよって言ってくれたとき
- 買い物いったとき
- 対応の仕方が同じとき
- お風呂の順番
- 生活の中での全体的な状況を見て
- 分担して家事をしている
- ご飯を食べているとき、話しているとき
- みんな普通に話しているから
- 頼み事をし合える
- 怒られるところ
- ご飯が出る
- 家族でなにかしてるとき
- 特に不都合無いと感じる
- 女子が優遇されるときもあれば、男子が優遇されているときもあるから
- 生活しているとき
- どちらもどっち
- 一緒に居るから
- なにかあっても女性だけにとじゃなくて必ずみんなに聞いたり教えたりすること
- 家事や掃除をする時
- 遊んでいるとき
- 一緒にごはんを食べているとき、一緒にゲームをしているとき
- 男のくせにとか女のくせにとか言われないとき
- 同じ扱い
- 兄弟に男しかいないから
- 全部
- 学校生活
- 男女同じように叱ってくれる先生がいる
- 人間は人間、同一だから
- 物等を同じ量ずつ分けてくれたとき
- 片付けのとき
- 自分の意見が尊重されたとき
- 男子だから、女子だからという言葉を使わないし聞かない
- みんなでお出かけしたり行動して楽しそうにしているから。
- お互いがお互いのことを思いやっているとき（家事は男女関係なくやっている、お互いの意見を尊重している）
- ご飯を食べるとき
- 一人に質問したときに一人だけじゃなく兄弟とかにも質問しているとき
- 感じない
- 家の家事(料理や洗濯)などです。
- 同じように接してくれたり、起こってくれたりする時。
- 家事を分担して行っている

- ・家にいるとき
- ・注意されたり怒られるとき
- ・態度が変わらない
- ・いつも通りの生活
- ・普段の生活の中で、平等ではない、と思ったことはないから
- ・お菓子を平等に同じ数ずつ分ける時
- ・例えば家事はお母さんがやってくれたりしてくれるけどお父さんは家のために全部のお金を使ってるから
- ・普段生活している時

【どちらかといえば女性の方が優遇されている】

- ・家とか体カテスト
- ・優先されるとき
- ・ものを買ってもらうとき
- ・入場料が女性と男性でかわるから
- ・なんとなく女子の兄弟が多いから
- ・SNSなどで女性の方が有利という記事をいろいろみてきたから

【女性の方が優遇されている】

- ・物事を決めるとき
- ・男子なんだからと言われてた

(2) 学校生活の中で

【どちらかといえば男性の方が優遇されている】

- ・荷物運ぶときとか
- ・冬に男子は制服がズボンだけど女子はスカートで寒い
- ・話の話題

【平等である】

- ・授業が平等に受けれる
- ・差がない
- ・同じことをしてるから
- ・不平等じゃない気がするから
- ・男子だから、女子だからなどの会話がなから
- ・最低限やらなきゃいけないことは一緒。みんな仲いい
- ・同じ対応をしてくれてる時
- ・みんなで物事を決めている時
- ・みんな平等に優しく接している時
- ・ぜんたい
- ・普段の生活で感じる
- ・先生が平等に怒るときには怒るから
- ・はげましてるとこ

- ・イベントの実行委員などが男女それぞれ立候補している。
- ・昼休みの時間
- ・助け合って生活しているから
- ・グループ活動の意見交換の時間に、お互いの意見を尊重しているから
- ・みんな仲いいから
- ・先生たちや、友達もそこまで差別しないから
- ・習う教科や生活が一緒だから
- ・話し合い活動の時間
- ・差別するような人はいないから
- ・仲良くなれるから
- ・体育のときなど（体力測定など）男女同じでは体力差が出てしまうので、基準が別れていたりするとき
- ・そんな場面を見たことないから
- ・ご飯が出る
- ・授業中
- ・男だろうと女だろうとやっていいことと悪いことで怒られたり褒められたりしているから
- ・先生たちは叱るときは男も女も関係無しに自分たちのために叱ってくれるから
- ・授業中
- ・みんな男女でも仲が良いから
- ・同じ
- ・一緒に居るから
- ・遊んでいるとき
- ・ふつうにはなしてるから
- ・揉め事とかをしたときにお互いの話をちゃんと聞いてくれるから
- ・全部
- ・なにか発表するとき男子ばかり指したり女子ばかり指したりすることがないから。
- ・授業中
- ・同じ考えを持っていたとき
- ・学校では男女の扱いに差は感じてない。
- ・教科書を配布されたとき
- ・給食を作るとき
- ・体育のときなど
- ・自分の意見が尊重されたとき
- ・話し合いなどで男女どちらの意見も大切にされているとき。
- ・高校の制服が女子がスカート、男子がズボンの指定ではなくなったこと
- ・感じない
- ・同じような環境だから。
- ・平等のほうが学校も楽しくなるからです
- ・譲り合いをしている。
- ・態度が変わらない
- ・男女関係なく接しているから。
- ・男女かわらず生活をしていると感じるから。
- ・給食の時自分で量を選べるとこ

【どちらかといえば女性の方が優遇されている】

- ・ 体力テスト
- ・ 色んなとき
- ・ 先生が男子を呼び捨てにして、女子には「〇〇さん」言っているから
- ・ 先生に注意されるとき
- ・ 意見を出し合うとき
- ・ 男子のほうが女子よりも強い言葉で怒られることがあるから
- ・ 普段の生活
- ・ 女性の方があんまり厳しく怒られていないと思ったとき
- ・ 物をとるときに女子に譲ってくれたりするから
- ・ 怒られるとき、名前を呼ぶとき
- ・ 女子が席を立ち歩いてるときは注意しないのに男子にはすぐに注意する
- ・ 男性は重いものを持って、女性は重くないものを持つということがあるから
- ・ 男子なんだからそれくらい許せよという言葉聞いたとき
- ・ 「女子にそれをやらせるなんて最低」というような言葉を聞いたとき
- ・ 先生の対応
- ・ 「女子はできているよ。」の言葉が多く聞こえるから。

【女性の方が優遇されている】

- ・ 先生が女子に優しい
- ・ 生徒への接し方
- ・ 女子が先生に悪口を言ったときはあんまきにしないのに男子だと強い口調で何かを言うてくる
- ・ 1年の宿泊学習の夜の過ごし方について
- ・ 女性が泣くと男性のせいにされる
- ・ 男の先生の差別がすごいから
- ・ 女子と男子の怒られ方が違う

(3) 社会全体で

【男性の方が優遇されている】

- ・ 男のほうが偉いみたいな昭和な感じが残ってるから

【どちらかといえば男性の方が優遇されている】

- ・ 年収
- ・ 女子しか行けないところがあったきがする
- ・ 仕事面
- ・ 男性にしかできない仕事があるから
- ・ 男の人と女の人が比べられているとき

【平等である】

- ・ ぜ〜んぶ
- ・ 学校生活のとき
- ・ 普段の生活で感じる

- ・差別や態度が男女平等だから
- ・体力が必要な仕事も女性が就いているとき。
- ・助けある時
- ・授業のとき
- ・男女で接する態度が変わらないから
- ・最近平等になってきたと思う
- ・母や父に仕事で男性や女性どちらも関係なく話しているときいたとき
- ・様々な服装をした人を見たとき
- ・同じ扱い
- ・普通に過ごしているとき
- ・やりたい仕事を性別関係なくデキる社会になってきていると思うから
- ・いろいろな職業の就職している男女の割合
- ・一緒に居るから
- ・特に気になることがないから
- ・全部
- ・社会では女性がスカートでもズボンでもいいから
- ・体力測定で男女関係なく得意な人は得意、苦手な人は苦手なんだとわかったとき
- ・みんな、ただ平等に自分のことをやっているだけだと思う
- ・お店の料理の値段が一緒
- ・仕事場などでは同じような接し方だから
- ・自分の意見が尊重されたとき
- ・感じない
- ・平等に接そうとしているのが感じられる時
- ・平等だったら社会だって楽しいしわかりやすいからです
- ・総理大臣が男女関係なくなっているから
- ・女性専用のものが多かったりはするけど、それには必ず理由がありそれ以外は平等になっていると思ったから

【どちらかといえば女性の方が優遇されている】

- ・電車とかに女性用車両があるから
- ・色んなとき
- ・男なんだからという言葉を聞く時があるから
- ・女性専用車両があったり、男女共同のトイレと合わせて、女性専用トイレが個別にあたりと、生活面において、少し女性の方が優遇されている気がする
- ・道を譲ってくれる
- ・女性専用車両などがあるから
- ・電車に乗っているとき
- ・物事をする量が、女性の方が少ないと思ったから。
- ・女子にだけ優しい人たちがたくさんいそう
- ・多分優先されるのは、女性だから。
- ・電車に乗ったとき
- ・女性はなんでもハラスメントで訴えられるから
- ・女性専用車両など

- 女性車両など、女性しか入れない場所があるから
- レディーファーストという言葉があること、女性専用車両があること。

【女性の方が優遇されている】

- 電車などで女性用車両があったりするから
- 女性専用車両はあって、男性専用車両はないから
- 親権問題
- 女子と男子での年上からの対応の違い

V 調査票様式

令和8年度 稲敷市男女共同参画に関する中学生意識アンケート

市では、性別にかかわらず、誰もが個性と能力を生かし、いきいきと暮らすことのできる男女共同参画社会の実現に向けていろいろな取り組みを進めています。

このアンケートは、みなさんの意識と現状をお聞きして、これからの市の取り組みなどの参考にするために、市内の中学2年生を対象に実施するものです。

ご協力をお願いします。(稲敷市市長公室秘書広聴課 男女共同参画担当)

- ・質問は、大問6まであります。
- ・このアンケートに自分の名前を書く必要はありません。また、みなさんが書かれた個別の内容を発表することはありませんので、ありのまま、思ったままを回答してください。
- ・質問ごとに当てはまる回答の番号を選んでください。選ぶ数は、質問中の指示にしたがってください。
- ・考えてもわからない場合や答えたくない質問があったときは、その質問に答えず次の質問に進んでください。

問1 あなたは、大人から「男らしくしなさい・男のくせに」や「女らしくしなさい・女のくせに」のように言われた（言われる）ことはありますか。

ある・ない

問2 あなたは、今の社会で男女は平等になっていると思いますか。次の(1)～(3)それぞれの分野について、あなたの気持ちに最も近いものをそれぞれ1つ選んでください。また、どんなときにそう感じますか。

(1) -① 家庭生活の中で(1つ)

- ・男性の方が優遇されている
- ・どちらかといえば男性の方が優遇されている
- ・平等である
- ・どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ・女性の方が優遇されている
- ・分からない

② どんなときにそう感じますか。(自由記載)

--

(2) -① 学校生活の中で(1つ)

- ・男性の方が優遇されている
- ・どちらかといえば男性の方が優遇されている
- ・平等である

- ・どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ・女性の方が優遇されている
- ・分からない

② どんなときにそう感じますか。(自由記載)

(3) -① 社会全体で (1つ)

- ・男性の方が優遇されている
- ・どちらかといえば男性の方が優遇されている
- ・平等である
- ・どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ・女性の方が優遇されている
- ・分からない

② どんなときにそう感じますか。(自由記載)

問3 あなたは、これからの男性と女性のあり方がどのようになれば良いと思いますか。次の(1)～(5)について、あなたの気持ちに最も近いものをそれぞれ1つ選んでください。

	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	分からない
(1)「男性は仕事、女性は家庭」という考え方は良い					
(2) 男女とも経済的自立ができるようになるのが良い					
(3) 男女とも家事ができるようになるのが良い					
(4) 男性は男らしく、女性は女らしく生きていくのが良い					
(5) 性別にかかわらず、個性に応じて生きていくのが良い					

問4 あなたは、今後、男女が社会のあらゆる分野(仕事、家庭、学校、地域活動、政治など)でもっと平等になるために重要だと思うことは何ですか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください(複数選択可)。

- ・法律や制度の見直しを行い、性差別につながるものを改めること
- ・男女の役割分担について社会全体の考え方や様々な偏見や慣習などを改めること
- ・女性が経済力をつけたり、知識・技術をもったりするなど、積極的に力をつけること
- ・政府や企業などの重要なポストや役職に一定の割合で女性が就任できる制度を採用すること
- ・仕事中心の社会全体の仕組みを改めること
- ・夫婦間で家事などの分担をするよう十分に話し合うこと
- ・仕事と家庭の両立ができるようにその手助けとなるサービスを行うこと
- ・分からない
- ・その他()

※選択肢の順序は自動でシャッフル

問5 あなたは、男女共同参画という言葉をご存知ですか。次の中から1つ選んでください。

男女共同参画とは：男性・女性といった性別に関係なく、一人ひとりの「自分らしさ」を認め合い、能力を発揮しながらみんなで協力し合っていくこと

内容まで知っている・見たか聞いたことがある・知らなかった

問6 あなたの性別を教えてください。

女子・男子・無回答 ※選択肢の順序は自動でシャッフル

回答を記録しました。調査へのご協力ありがとうございました。

※学習用端末を活用し、Google フォームから上記の内容に回答する。